

熊本憲三議員(自由民主党・安芸区選出)、詐欺容疑で書類送検

政務活動費不正疑惑

各派幹事長会議で

熊本議員「コメントできない」と説明拒否！

～政治家として責任を果たすべき！～

7月6日、広島県警が熊本議員(元副議長)を数年間で約三百数十万円の費用をだまし取った詐欺容疑で、検察に書類送検されました。これを受けて議長は翌7日、熊本議員から書類送検となった状況について聴取するための緊急の幹事長会議を開きました。

その席で熊本議員は「政務活動費の不正請求はおこなっていない」と説明しつつ、ウソの領収書を作成したとされる具体的な事実の確認について問われると刑事事件にかかわることだからと一切の説明を拒否しました。具体的な事一つひとつがすべて自分に不利になると認めたことであり、疑惑が深まるばかりです。

そもそも、議員には、不正を働いたという疑惑について有権者に対して、説明する道義的・政治的な責任があります。幹事長会議での質疑とはいえ、説明を一切拒否するというのでは政治家としての責

任を果たしているといえません。

市議団は16年3月の最初の報道以来、議長に申し入れ(注)を行ってききましたが、議長は「県警の捜査を静観する」という態度でした。

議員が書類送検をされるという市議会では前代未聞の事態を受け、3度目の申し入れを行いました。

市議団は、この事件が解決するまで引き続き追及していきます。

(注) ・市民への説明責任を果たすこと

- ・市議会として自浄作用を発揮し、真相究明を図ること
- ・そのために100条委員会を設置すること



7月7日 各派幹事長会議



1月20日 議長への申し入れ

事件の概要

- | | |
|------------|---|
| 2016年3月2日 | 2011年度の政務活動費を不正に取得したという疑いで市民から警察へ告発されたと報道 |
| 2017年1月20日 | 同内容について事情聴取されると報道 |
| 2017年7月6日 | 広島県警が数年間で約三百数十万円の費用をだまし取った詐欺容疑で、検察に書類送検されたと報道 |
| 2017年7月7日 | 熊本議員から書類送検になった状況について聴取するための幹事長会議が開かれました。 |

「不正はしていない」というのなら、きちんと説明すべき！